エフ・フィールド講師による「いのちの授業」

ふれ合い学級では、ＮＰＯ法人エフ・フィールドより講師をお招きし、「いのちの授業」を行って頂きました。普段あまり意識することのない「いのち」について、子ども達が学習することを保護者の皆様にも知って頂きたいと願い、実施しました。

教えて頂いた、５つのメッセージ

【５つのメッセージ】
- **自分がもっている『いのち」を大切に。**
- **家族や友達のことも大切にできる。**
- **いのちは『時間』。**
- **人のために、自分の時間を使える人になってほしい。**
- **『ゆるす』ということ。**

【児童感想より一部抜粋】
- パパの　しんぞうの　おとを　きいたよ。
- すごく　どくどくどっくんって　なっていた。
- 命が世界で一番大事だと学びました。自分が今、生きている時間は、神様がくれた大事な時間だと思い、大切に時間を使いたいです。
- 命は自分のために使うもので、目に見えないものということを知り、納得しました。
- 初めて自分の心臓の音を聞きました。命について今まで、あまり考えたことがなかったので、よい機会でした。命には力があって、いろいろなことに使えることが今回の授業で分かりました。命の大切さについて、５つのメッセージを心においておきたいです。
- 日野原先生が、「心臓はポンプ」だと言っていました。確かに、血液をポンプみたいに送っていたので、そうだと思いました。「生きている時間を人のために使える人になってほしい」と言っていました。これは、廊下を一生懸命に掃除する、スリッパを揃えるなどの身近にできることがたくさんあるので、やりたいです。
- たくさんの人、たくさんの命から、私たちは生まれてきたのだと思いました。
- 人のために時間を使えるようになりたいと思いました。
- 寿命はとても大切なこと。寿命はなくなったらもう二度と・・・。だから、メッセージにもあったように、今、自分が使っている時間を大切に、人のためになるように、人を許せるくらい余裕のある人間になりたいです。
- 大切なものは目には見えないという言葉が心に残りました。